

2008年度第2四半期
決算報告

2008年11月6日

三菱商事株式会社

1. 2008年度第2四半期決算のポイント

(注)本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。


2008年度第2四半期決算のポイント

① 当期純利益(第2四半期累計)が5年連続で過去最高益を更新
— 「金属」、「エネルギー事業」の両セグメントで大幅増益

② 株主資本は横ばいで推移

③ 今期の当期純利益見通しは5,200億円に修正
配当見込額は1株あたり64円程度(予定)へ

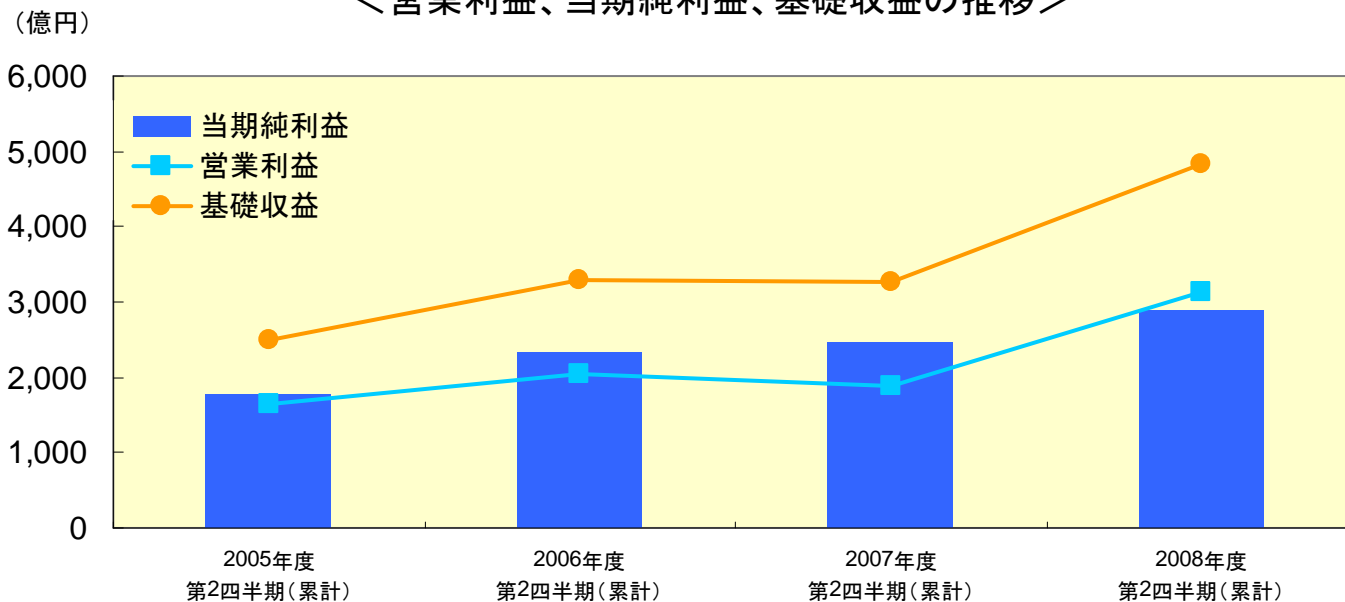
— 連結配当性向20%を維持

 外部環境の急激な変化、実体経済に及ぼす影響を考慮し、
中期経営計画「INNOVATION2009」における利益計画や投資計画などを総点検

第2四半期決算の総括<P/L>①

当期純利益(第2四半期累計)が5年連続で過去最高益を更新

<営業利益、当期純利益、基礎収益の推移>



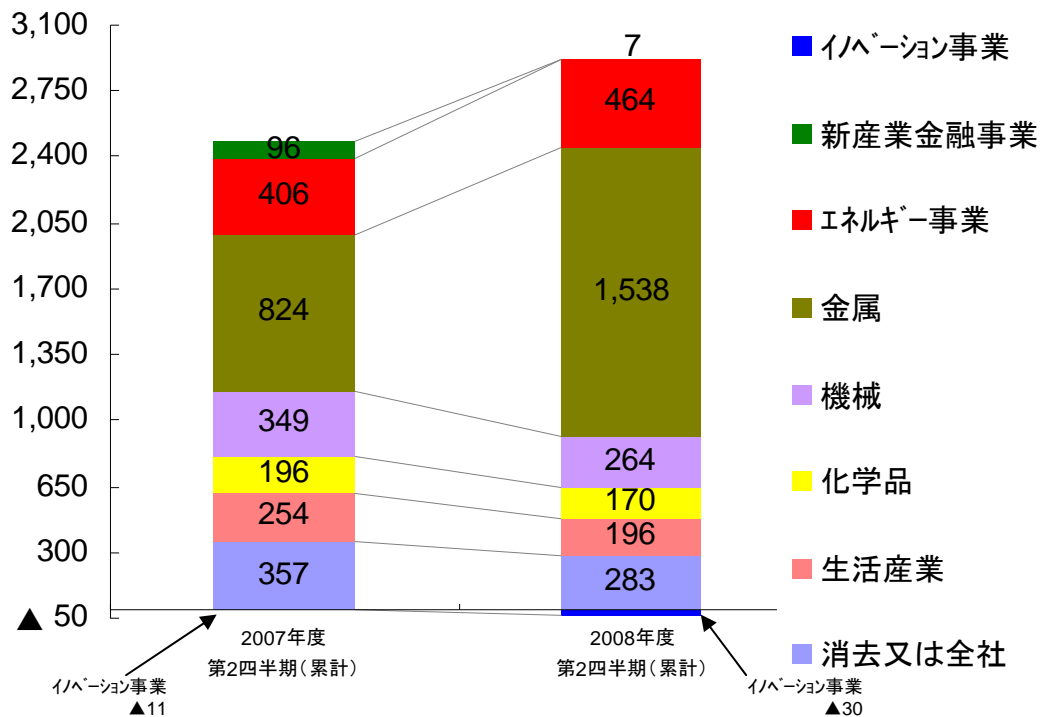
	2005年度 第2四半期(累計)	2006年度 第2四半期(累計)	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
営業利益	1,641	2,050	1,879	3,125
当期純利益	1,783	2,348	2,471	2,892
基礎収益	2,485	3,283	3,258	4,839

※本資料では、米国会計基準に従い、2007年度第2四半期、及び通期の実績を修正再表示しています。

第2四半期決算の総括<P/L>②

「金属」、「エネルギー事業」の両セグメントで大幅増益

(億円)



資源価格の推移

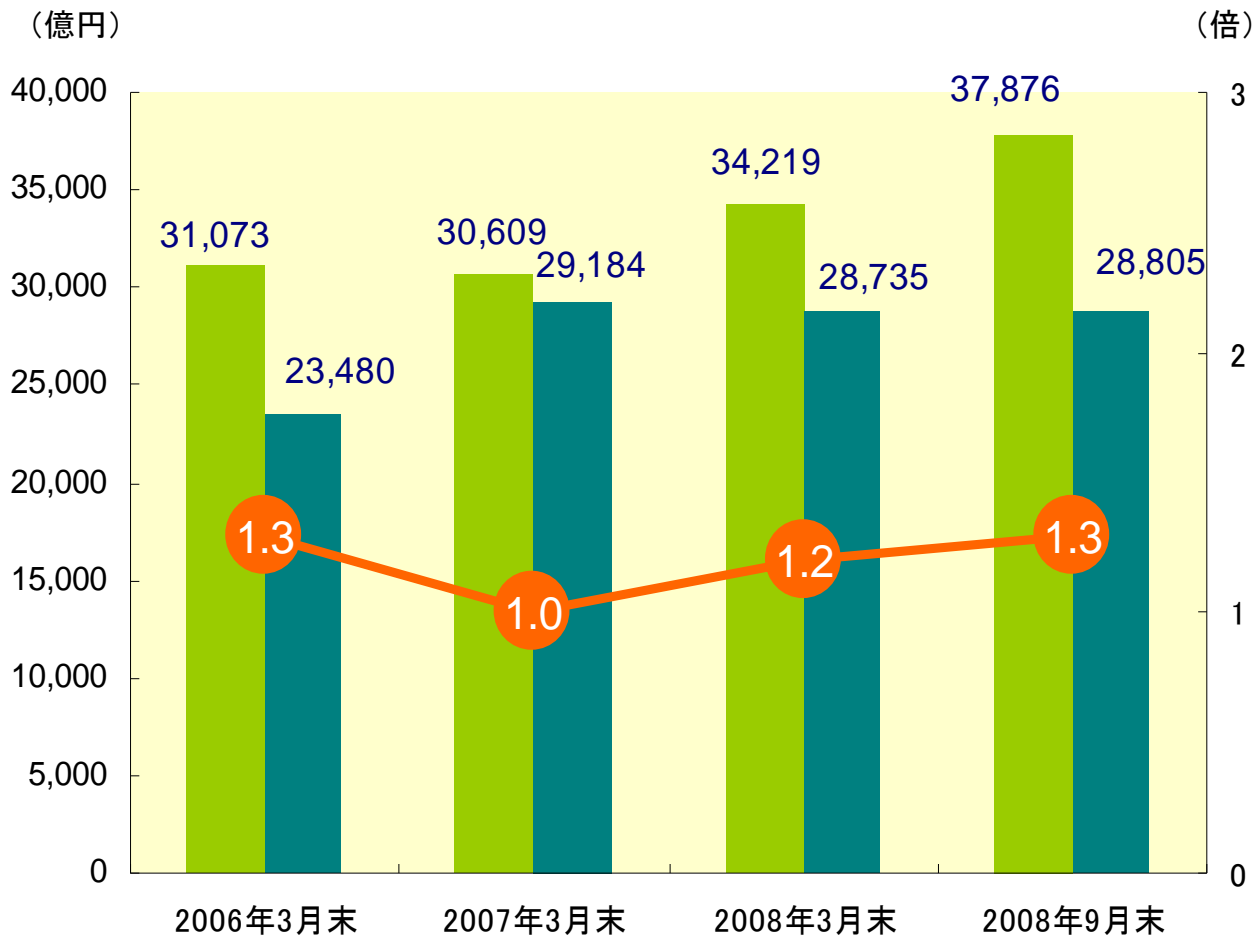
	2007年度 第2四半期 (累計)	2008年度 第2四半期 (累計)	増減
油価(ドバイ)(\$/BBL)	67.4	115.1	47.7
銅価格(\$/MT)	7,677	8,061	384
アルミ価格(\$/MT)	2,654	2,864	210

セグメント別当期純利益増減理由

- イノベーション事業(△19億円の減益)… ICT(情報・通信) 関連子会社の統合による税負担増、取引低調による利益減少ほか
- 新産業金融事業(93%減益)… 前年度における三菱UFJリース株式みなし売却益の反動減、及びファンド投資関連収益の減少
- エネルギー事業(14%増益)… 原油価格上昇による海外資源関連投資先の持分利益及び受取配当金の増加
- 金属(87%増益)… 資源価格上昇による取引利益や配当収入による利益増加
- 機械(24%減益)… 固定資産減損、海外自動車事業での販売減少、及び欧州自動車関連会社の売却による持分利益減少の影響ほか
- 化学品(13%減益)… 親会社における汎用化学品の取引好調により利益が増加したものの、前年同期に計上した石化事業関連会社の持分上昇による税メリットの反動減により利益減少
- 生活産業(23%減益)… 株式評価損による利益減少、前年度株式売却益の反動減

第2四半期決算の総括<B/S>

株主資本は横ばいで推移

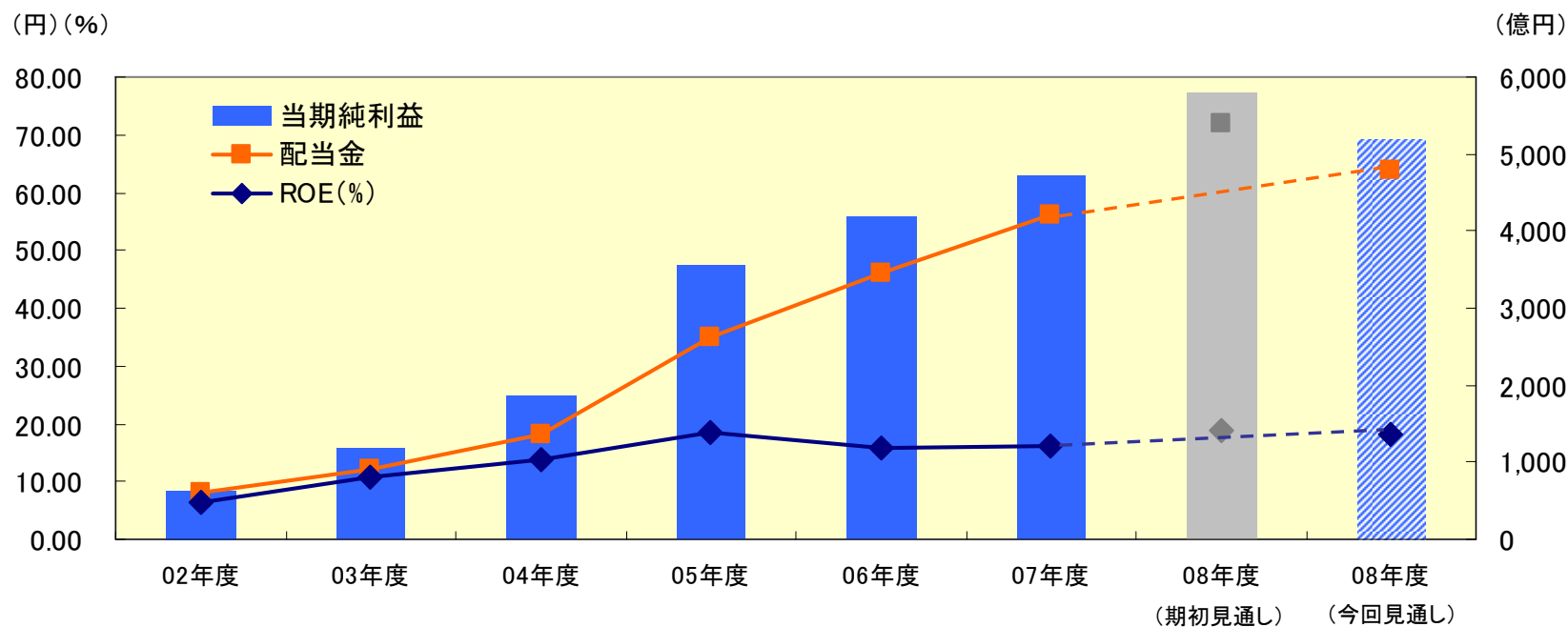


- 主な株主資本増減要因
(2008年3月末比)
- ① 当期純利益の積み上がり (2,892億円)
 - ② 配当金支払 (△492億円)
 - ③ 未実現有価証券評価益の減少 (△998億円)
 …… 株価下落による保有上場株式の含み益減
 - ④ 為替換算調整勘定の悪化 (△955億円)
 …… 円高の影響

有利子負債 (NET) 株主資本 有利子負債倍率 (NET)

通期業績と配当の見通し

今期の当期純利益見通しは5,200億円に修正
 配当見込額は1株あたり64円程度(予定)へ
 —連結配当性向20%を維持



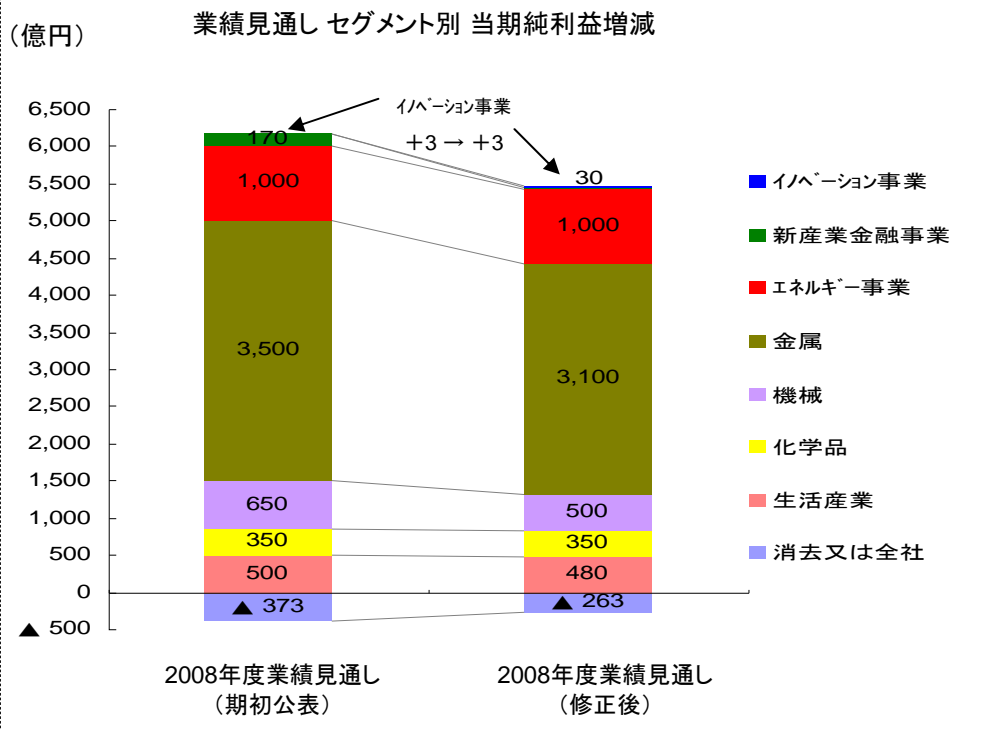
	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度 (期初見通し)	08年度 (今回見通し)
当期純利益(億円)	630	1,176	1,866	3,567	4,193	4,709	5,800	5,200
配当金(円)	8.00	12.00	18.00	35.00	46.00	56.00	72.00	64.0
ROE (%)	6.4	10.9	13.7	18.6	15.9	16.3	18.8	18.3

通期業績見通し

(億円)	2008年度 業績見通し (期初公表) (a)	2008年度 業績見通し (修正後) (b)	対期初公表 見通し増減 (b - a)	2007年度 通期 (c)	対前年度 通期増減率 (b - c)/(c)
売上高	250,000	250,000	0	231,030	8%
売上総利益	16,500	15,700	▲ 800	11,722	34%
営業利益	6,850	6,300	▲ 550	3,551	77%
当期純利益	5,800	5,200	▲ 600	4,709	10%
基礎収益	10,000	9,250	▲ 750	6,285	47%

セグメント別業績見通し増減理由

- **イノベーション事業**(増減無し)
- **新産業金融事業**(△140億円の減益)・・・運用環境悪化によるファンド投資収益の悪化などが見込まれるもの
- **エネルギー事業**(増減無し)・・・原油価格は上期に上昇したが、下期に下落し、通期ベースの平均原油価格は期初見通し比微増に留まることが見込まれるほか、探鉱費用増加等により見通しは据え置き
- **金属**(△400億円の減益)・・・非鉄金属資源価格の下落及び数量減少に伴う受取配当金・持分法損益の減少、豪ドル安などに伴うMDP持分利益の減、並びに第2四半期における株式評価損の計上
- **機械**(△150億円の減益)・・・第2四半期における固定資産減損の計上、プラント事業関連会社のコスト増による採算悪化、及び海外自動車事業の販売減少
- **化学品**(増減無し)
- **生活産業**(△20億円の減益)・・・第2四半期に株式評価損を計上したもの



(注意事項)

本資料における業績予想や将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。

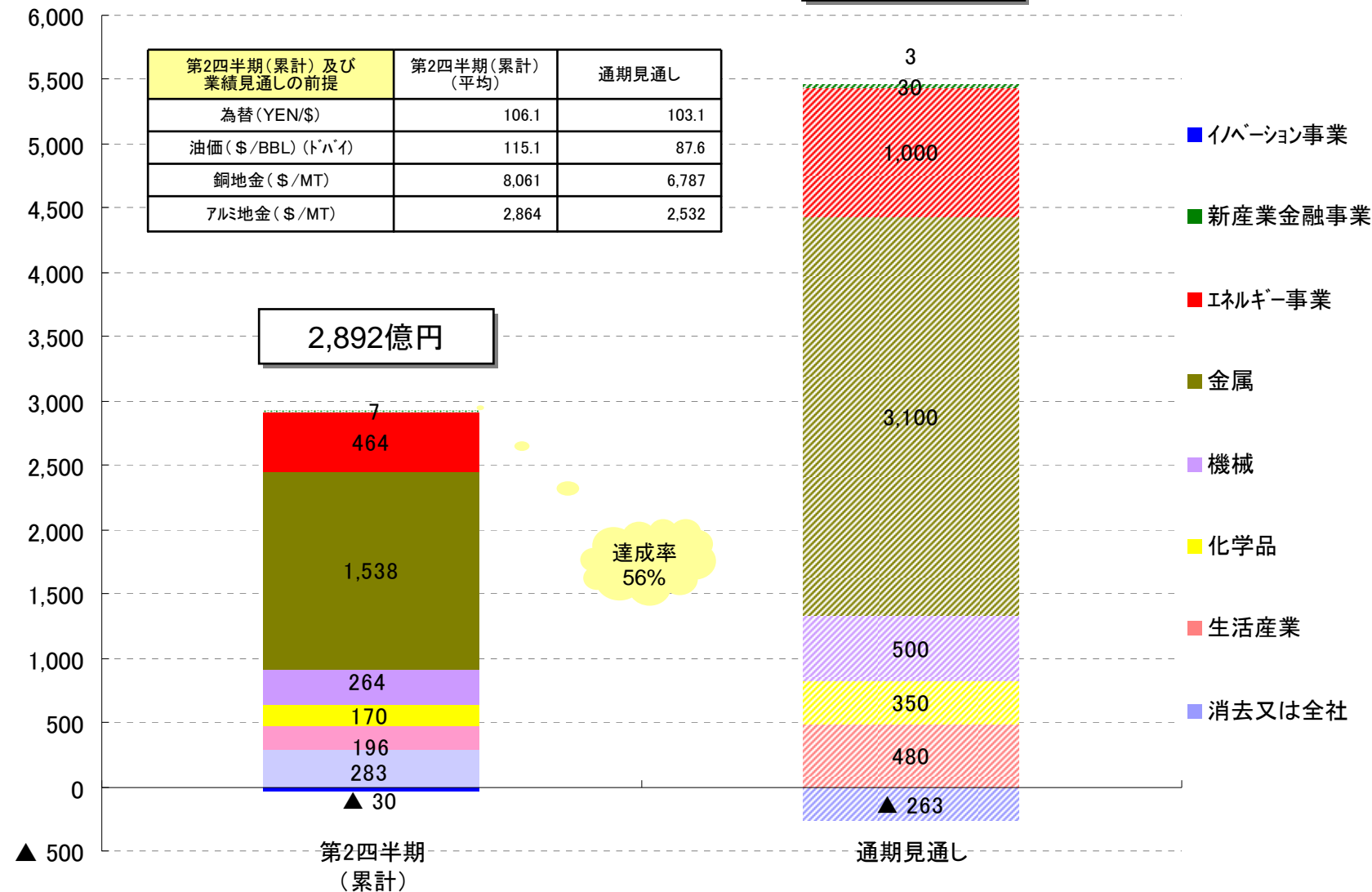
従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

商品市況・為替・金利の影響

	第2四半期 までの実績 (a)	第3四半期 以降見直し (b)	通年平均 (c)	期初見直し (d)	増減 (c - d)	当期純利益に対する 損益インパクト
為替(YEN/\$)	106.1	100.0	103.1	105.0	▲ 1.9	1円円高につき年間27億円 の減益インパクト
円金利(%)TIBOR	0.85	0.90	0.87	0.90	▲ 0.03	取引利益や投資利益により金利上 昇の影響は相殺される部分が相当 あるが、金利上昇が急である場合 には一時的に影響を受ける
US\$金利(%)LIBOR	2.83	3.80	3.32	2.80	0.52	
油価(\$/BBL) (トバイ)	115.1	60.0	87.6	85.0	2.6	\$1上昇につき年間10億円 の増益インパクト
銅地金(\$/MT)	8,061	5,512	6,787	7,937	▲ 1,150	粗鉱品位、生産操業状況、急激な 銅価変動(下落)に応じた精算金需 要、再投資計画(設備投資)等、価 格変動以外の要素に大きな影響を 受ける
アルミ地金(\$/MT)	2,864	2,200	2,532	2,900	▲ 368	\$100低下につき年間10億円 の減益インパクト

2008年度通期業績見通しの達成状況

当期純利益
(億円)



INNOVATION 2009 投資計画及び進捗状況

【分野別の投資金額】

(1) 資源・エネルギー分野

エネルギー

金属資源

「INNOVATION 2009」計画

5,000億円
～ 8,000億円

(2) 全社推進分野

金融

医療周辺、
新エネルギー・環境

2,000億円
～ 4,000億円

(3) 機械・化学品・生活産業ほかの分野

既存事業の拡大
バリューチェーンの発展
グローバル展開

3,000億円
～ 5,000億円

最大 1兆5,000億円 程度(*)

2008年度第1四半期決算
新規投資実績(グロス投資額)

豪州原料炭事業関連投資、
西北海等E&P事業 など

400億円

2008年度第2四半期決算
新規投資実績(グロス投資額)

豪州原料炭事業関連投資(New
Saraji権益取得等)、西豪州ウラ
ンプロジェクト、北海等E&P事
業 など

1,700億円

第1～2四半期
累計

2,100億円

三菱UFJリース、三菱航空機
など

500億円

リース用航空機 など

300億円

800億円

千代田化工建設、ロバートソン
など

1,200億円

船舶関連、不動産関連など

800億円

2,000億円

2008年度第1四半期合計
2,100億円

2008年度第2四半期合計
2,800億円

累計
4,900億円

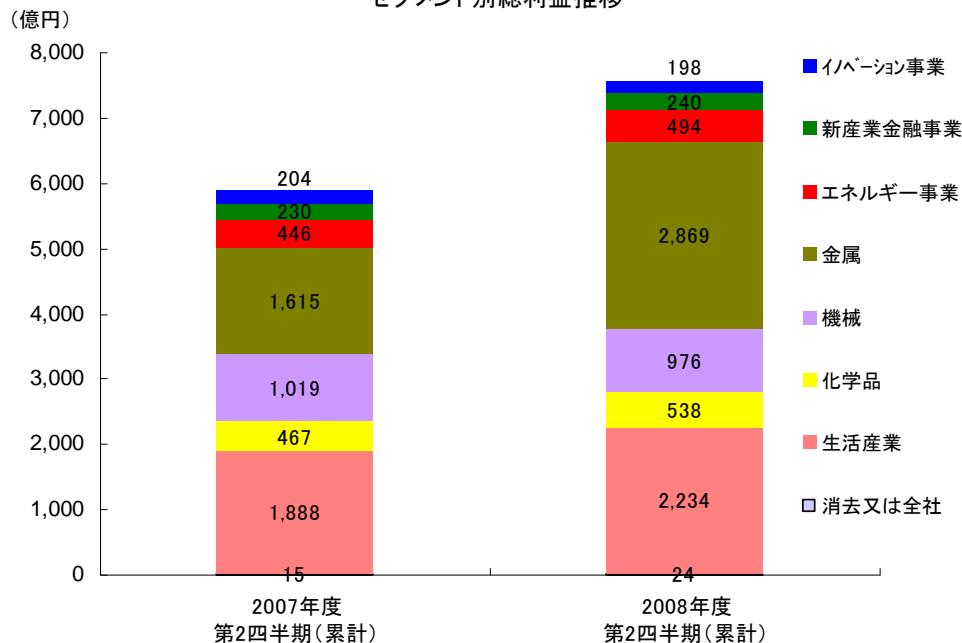
(*)計画値は資産削減を加味したネットの増加額。計画値のグロス増加額は、約1兆8,000億円程度となる。

2. オペレーティング・セグメント別概況

主要PL項目の前年同期比増減

(単位:億円)	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)	増減	増減率
売上高	110,550	131,806	21,256	19%
売上総利益	5,884	7,573	1,689	29%
営業利益	1,879	3,125	1,246	66%
当期純利益	2,471	2,892	421	17%
基礎収益	3,258	4,839	1,581	49%

セグメント別総利益推移



過去のトラックレコード (第2四半期累計ベース)

- 売上高・・・過去最高
(従来の最高は前年同期の11.1兆円)
- 売上総利益・・・過去最高益
(従来の最高益は前年同期の5,884億円)
- 営業利益・・・過去最高益
(従来の最高益は2006年度第2四半期の2,050億円)
- 当期純利益・・・過去最高益
(従来の最高益は前年同期の2,471億円)
- 基礎収益・・・過去最高益
(従来の最高益は2006年度第2四半期の3,283億円)

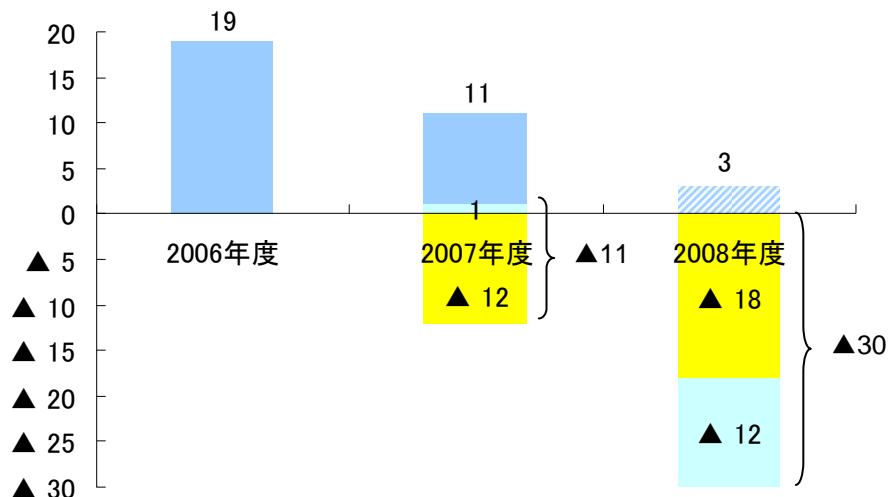
本資料では、米国会計基準に従い、2007年度第2四半期、及び通期の実績を修正再表示しています。

イノベーション事業セグメント

当期純利益推移

(億円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し



<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

- 当期純利益は▲30億円と前年同期比▲19億円の減益となった。これは、ICT(情報・通信)関連子会社の統合による税負担増や、取引低調によるもの。

	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	204	198
持分法損益	11	13
当期純利益	▲11	▲30
セグメント資産	1,883	1,886

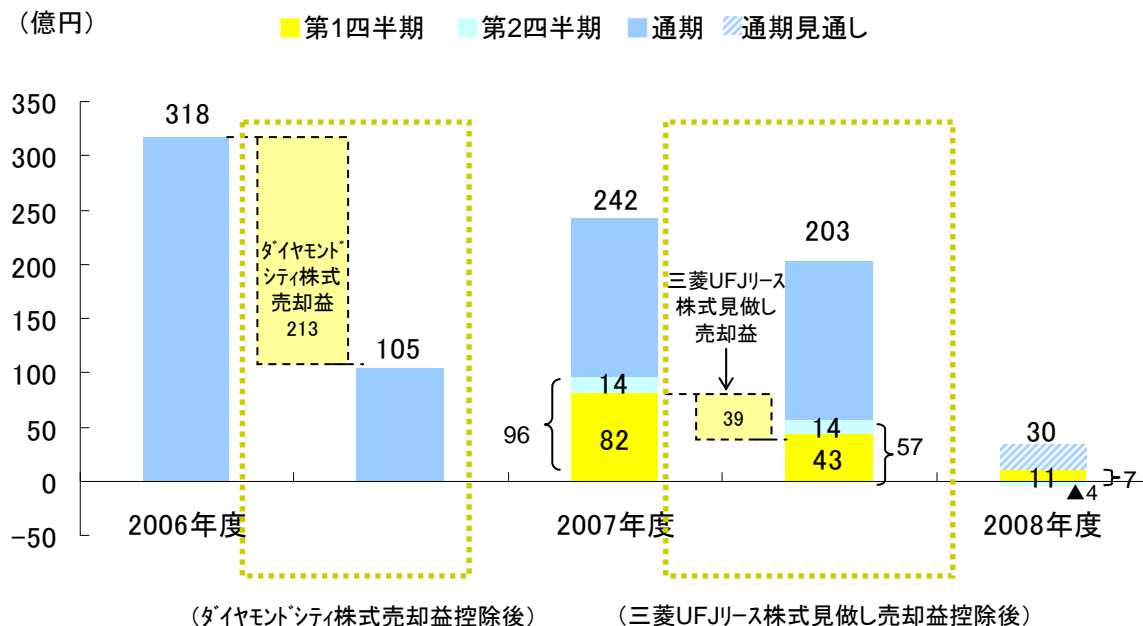
2008年度通期見通し (前年度実績)
470(446)
-
3(11)
-

<2008年度通期業績見通し(前年度比)>

- 業容拡大に伴う営業費や、新規投資の増加による先行費用の負担増により、▲8億円(11→3)の減益となる見込み。
- 2008年度通期見通し3億円に対する達成率は低い水準となっているが、これは、第3四半期以降に、開発型事業からの収益の実現や、既存事業の再編・株式売却などによる収益を見込んでいるもの。

新産業金融事業セグメント

当期純利益推移



<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

- 当年度第1四半期に三菱UFJリースに対して持分法適用を開始したことから、前年度及び前年同期の実績をリステートして表示している。
- 当期純利益は7億円と前年同期比▲89億円の減益となるが、三菱UFJリース株式見做し売却益を除いた前年同期(57億円)との対比では▲50億円の減益となる。
- これは、ファンド投資関連収益の減少などによるもの。

<2008年度通期見通し(前年度比)>

- 前年度比で▲212億円となるが、三菱UFJリースの株式見做し売却益を除いた前年度(203億円)との対比では▲173億円となる。
- これは、前年度における大型不動産開発案件の売却益の反動があるほか、今年度に運用環境悪化によるファンド投資収益の悪化などを見込んでいるもの。
- 通期業績見通し30億円に対する第2四半期までの達成率は低い水準となっているが、これは、第3四半期以降に不動産売却益などを見込むもの。

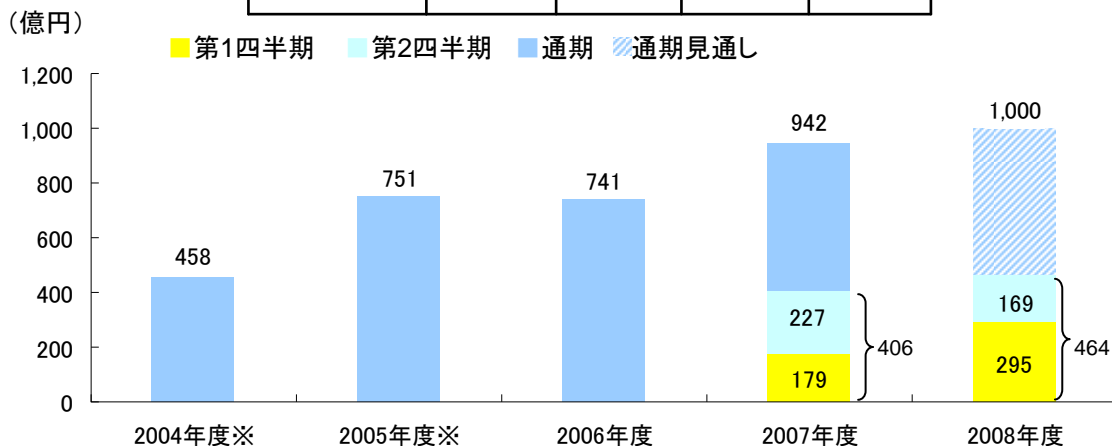
	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	230	240
持分法損益	14	27
当期純利益	96	7
セグメント資産	7,440	9,148

2008年度通期見通し (前年度実績)
580(605)
-
30(242)
-

エネルギー事業セグメント

ドバイ油価推移 (US\$/BBL)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2005年度	47.9	55.3	56.6	57.9
2006年度	64.8	65.9	57.3	55.4
2007年度	64.8	70.1	83.2	91.4
2008年度	116.9	113.4	-	-

当期純利益推移



※2005年度以前の数値は、2007年度の組織改編によるリスタートを行っていない。

<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

- ▶ 当期純利益は464億円と前年同期比+58億円の増益となった。これは、原油価格上昇により海外資源関連投資先の持分利益及び受取配当金が増加したことによるもの。

<2008年度通期業績見通し(前年度比)>

- ▶ 為替の影響及びサハリンエナジー社株式売却益の反動による減少があるものの、海外資源関連会社での油価上昇の影響及び受取配当金の増加により、58億円の増益となる見込み。
- ▶ 通期見通し1,000億円に対する第2四半期までの達成率は46%となっているが、これは、夏場の高油価による利益が期スレにより第3四半期以降に計上されることや、海外配当に関する税額控除メリットが第3四半期以降に計上されることによるもの。

	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	446	494
持分法損益	205	293
当期純利益	406	464
セグメント資産	18,607	18,261

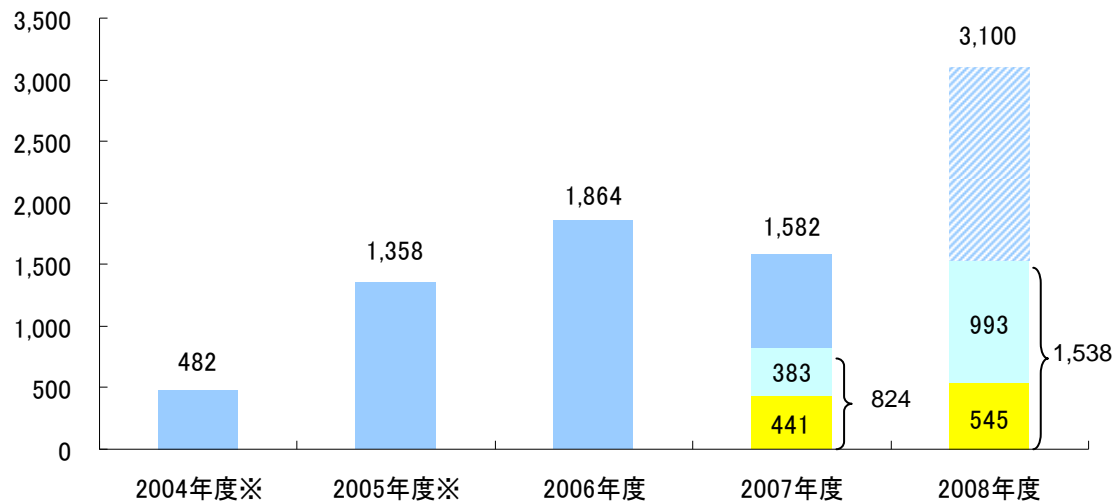
2008年度通期見通し (前年度実績)
800(816)
-
1,000(942)
-

金属セグメント

当期純利益推移

(億円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し



※2005年度以前の数値は、2007年度の組織改編によるリステートを行っていない。

<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

- ▶ 当期純利益は1,538億円と前年同期比+714億円の大増益となった。これは、資源価格上昇による取引利益や配当収入の増加によるもの。
- ▶ MDPの当期純利益は+716億円(前年同期386→当年度1,102)の増益となった。
- ▶ その他の主要連結会社等の状況:

増減('07.2Q→'08.2Q)【億円】

- ・Iron Ore Company of Canada +76 (17→93)
- ・Hernic(南ア・フェロクロム) +51 (8→59)
- ・ジェコ(エスコンディータ銅鉱山) +27 (110→137)
- ・M.C. Inversiones(ロスコロトス鉄鉱山) +24 (38→62)
- ・メタルワン +7 (118→125)
- ・MCAM(モザールアルミ) ▲31 (85→54)
- ・アンタミナ(銅亜鉛鉱山)からの配当収入(税後) +15 (58→73)

	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	1,615	2,869
持分法損益	214	278
当期純利益	824	1,538
セグメント資産	34,492	36,774

2008年度通期見通し (前年度実績)
5,900(2,820)
-
3,100(1,582)
-

<2008年度通期見通し(前年度比)>

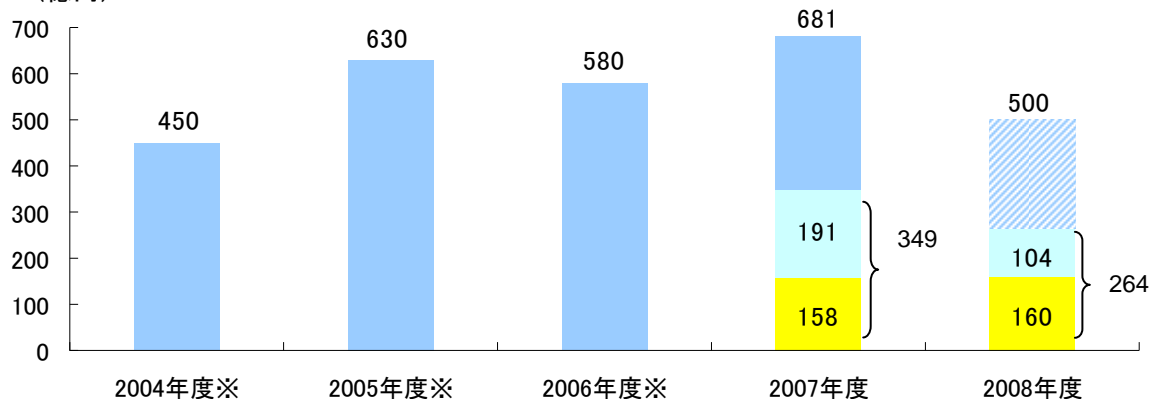
- ▶ MDPでの販売価格上昇による取引利益増加などにより、+1,518億円(1,582→3,100)増益となる見込み。

機械セグメント

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し

当期純利益推移

(億円)



<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

- 当年度第1四半期に千代田化工建設に対して、持分法適用を開始したことから、前年度及び前年同期の実績をリステートして表示している。
- 当期純利益は264億円と前年同期比▲85億円の減益となった。これは、固定資産の減損、海外自動車事業での販売減少、及び欧州自動車関連会社の売却による持分利益の減少の影響によるもの。

※2006年度以前の数値について、2007年度の組織改編後の新組織ベースにリステートを行っているが、2005年度以前の数値は、本資料のために簡易的に算出した概数値。

	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	1,019	976
持分法損益	145	125
当期純利益	349	264
セグメント資産	22,528	22,376

2008年度通期見通し (前年度実績)
1,900(1,926)
-
500(681)
-

<2008年度通期業績見通し(前年度比)>

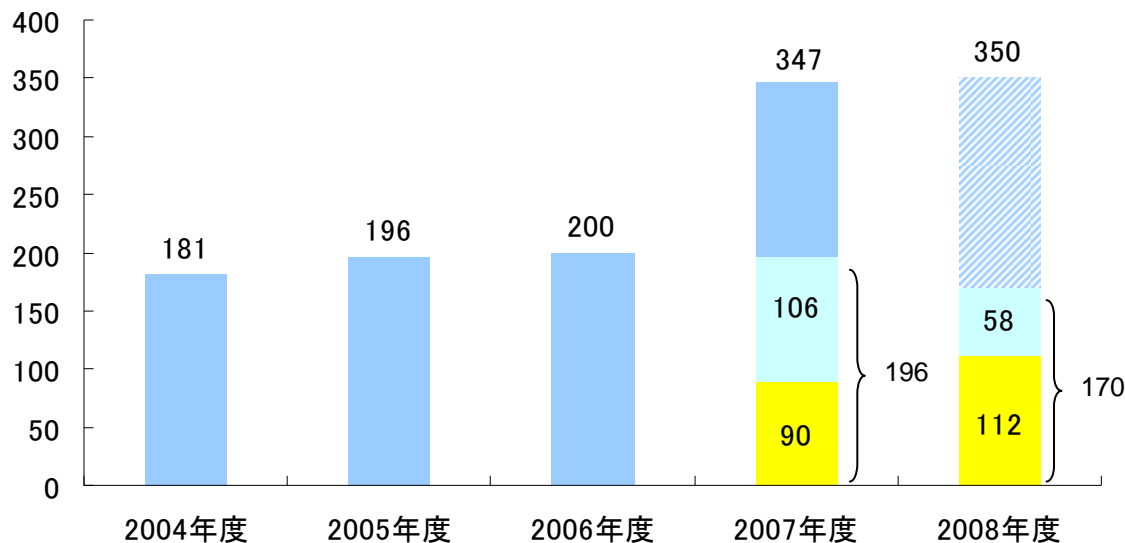
- 備船市況高騰等による増益要因はあるものの、固定資産減損、海外自動車関連事業での販売減少及び円高による収益減等により、▲181億円(681→500)の減益となる見込み。

化学品セグメント

当期純利益推移

(億円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し



<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

➢ 当期純利益は170億円となり、前年同期比▲26億円の減益となった。これは、親会社における汎用化学品の取引が好調であったものの、前年同期におけるサウディ石油化学の持分上昇による税メリットの反動減があったことによるもの。

	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	467	538
持分法損益	55	72
当期純利益	196	170
セグメント資産	8,768	8,839

2008年度通期見通し (前年度実績)
1,050(979)
-
350(347)
-

<2008年度通期見通し(前年度比)>

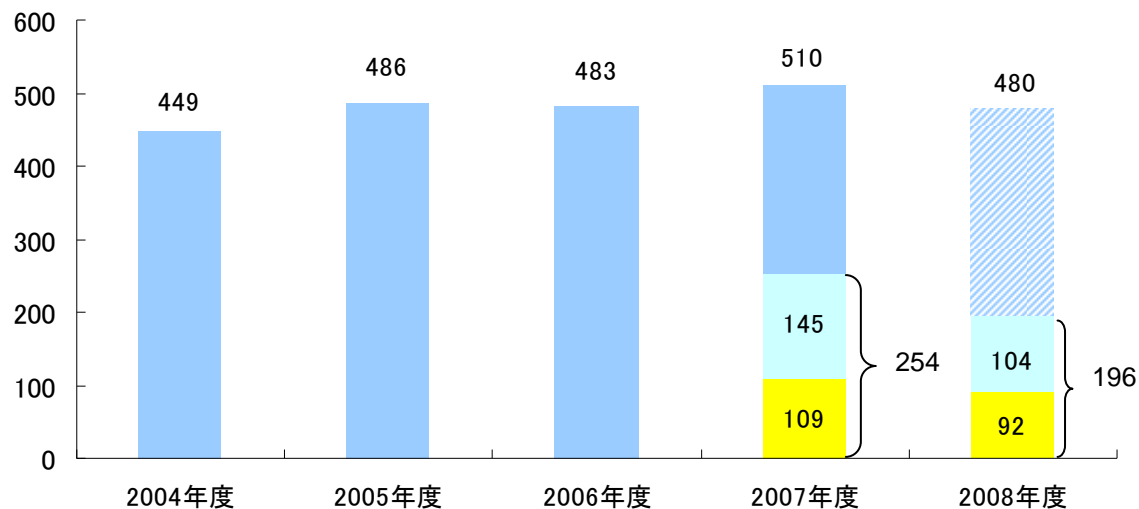
➢ 親会社において取引利益の増加が見込まれるが、前年度にサウディ石油化学の持分上昇による税メリットを計上したことの反動があるため、横ばいとなる見込み。

生活産業セグメント

当期純利益推移

(億円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し



<2008年度第2四半期(累計)決算の概況>

- 当期純利益は196億円と前年同期比▲58億円の減益となった。これは、前年度における株式売却益の反動、及び今年度に株式評価損を計上したことによるもの。

<2008年度通期見通し(前年同期比)>

- 当第2四半期に株式評価損を計上したことなどから、▲30億円(510→480)の減益となる見込み。
- 通期見通し(見直し後)480億円に対して達成率が低い水準となっているが、これは、当第2四半期に株式評価損を計上したこと、並びに季節要因で食料関連子会社の収益が下期に偏っていることによるもの。

	2007年度 第2四半期(累計)	2008年度 第2四半期(累計)
売上総利益	1,888	2,234
持分法損益	105	111
当期純利益	254	196
セグメント資産	23,219	22,753

2008年度通期見通し (前年度実績)
4,800(4,120)
-
480(510)
-

参考資料

三菱自動車

三菱自動車2008年度第2四半期の業績サマリー(6ヶ月累計)

(単位:億円、千台)

	2007年度 第2四半期 ①	2008年度 第2四半期 ②	差 ②-①
売上高	13,134	12,140	-994
営業利益	188	254	+66
経常利益	66	209	+143
当期利益	-56	128	+184
販売台数(小売)	691	602	-89

	2008年度 通期見通し 4/25公表値③	2008年度 通期見通し(修正) 10/30公表値④	差 ④-③
売上高	26,500	23,600	-2,900
営業利益	600	500	-100
経常利益	480	430	-50
当期利益	200	200	±0
販売台数(小売)	1,309	1,228	-81

注:販売台数はOEM供給台数を除く

(三菱自動車第2四半期決算資料より)

(億円)

わが社リスクエクスポージャー

